

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 令和2年9月30日（水）午後1時30分開会 午後2時16分閉会
- ◇場 所 野田市役所低層棟4階委員会室
- ◇出席委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇欠席委員 佐藤裕教育長 高橋保教育委員
- ◇説明職員 山下敏也教育次長（兼）生涯学習部長 戸塚進教育総務課長 安藤剛行生涯学習課長 桑村典子青少年課長（兼）青少年センター所長 横島司興風図書館長 船橋高志学校教育部長 下川泰弘学校教育部次長（兼）学校教育課長 山田桂一指
導課長

- ◇書 記 鈴木一敏教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇付議事件

- (1) 野田市立図書館協議会委員の委嘱について
- (2) 野田市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について

◇教育長の報告事項

- ・教育総務課
 - (1) 令和2年第5回野田市議会定例会の報告について
- ・学校教育課
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の対応について
- ・指導課
 - (1) G I G Aスクール構想の進捗状況について

◎伊藤委員

ただいまから、令和2年9月教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、教育長及び教育長職務代理者が欠席でありますので、教育長から指名を受けました私の方で、会議を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、会議は成立しております。

本日の会議録署名委員を永瀬委員にお願いします。

(永瀬委員了承)

◎伊藤委員

会議録承認の件に入ります。令和2年8月定例会の会議録について、事前に資料を配付しているところですが、御意見等ございますか。

御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎伊藤委員

御異議なしと認め、会議録につきましては、承認します。

次に、会議次第に従い議題に入ります。

議案第1号を議題とします。

(書記議案朗読)

◎伊藤委員

事務局から説明をお願いします。

興風図書館長。

◎横島興風図書館長

議案第1号 野田市立図書館協議会委員の委嘱について御説明いたします。

図書館協議会委員12名のうち、家庭教育の向上に資する活動を行う者として生涯学習課から推薦をいただいております委員の辞任に伴い、新たに推薦がありましたので、野田市立図書館設置条例第10条第4項の規定により、新しい委員に現在の委嘱者の残任期間を委員としてお願いしようとするものでございます。

なお、女性委員登用率ですが、図書館協議会委員12名のうち女性委員は6名で、50%となります。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎伊藤委員

ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見等がありましたらお願いします。

(なしの声)

◎伊藤委員

ないようですので、議案第1号についてお諮りします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎伊藤委員

御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第2号を議題とします。

議案第2号につきましては、永瀬委員の自己に関することが含まれておりますので、永瀬委員には、一時御退席をお願いしたいと思います。

暫時休憩します。

(永瀬委員退席)

◎伊藤委員

再開します。

(書記議案朗読)

◎伊藤委員

事務局から説明をお願いします。

指導課長。

◎山田指導課長

議案第2号 野田市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について御説明いたします。

本議案は、野田市教育支援委員会条例第3条第2項の規定により、令和2年9月30日の任期満了に伴い、委員を委嘱又は任命しようとするものです。

委員の定数は15名で、このうち女性が9名、女性登用率は60.0%になります。

新規の方は、江戸川病院の小池院長、山崎小学校の菅野教諭、第二中学校の細沼教諭、岩木小学校の山田養護教諭の4名で、残り11名の方は再任となります。

委嘱期間につきましては、令和2年10月1日から令和4年9月30日までとなります。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎伊藤委員

ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見等がありましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

議案そのものに異議はございません。お伺いしたいことが一点ございます。教育支援委員会の主な議題は、どのようなものがあるのでしょうか。

◎伊藤委員

指導課長。

◎山田指導課長

大体今ぐらいの時期から、例えば新1年生となる未就学児童、また、小学6年生で4月より中学校に入学するお子さんの保護者の方に、何らかの困り感がある方について今就学相談を行っておりまして、その結果を基にそれぞれの子供たちにとってどの選択が良いのかを、専門家の立場から一人一人についていただくというのが、教育支援委員会の主な議題となります。以上でございます。

◎伊藤委員

ありがとうございました。飯田委員、よろしいでしょうか。

◎飯田委員

はい。ありがとうございました。

◎伊藤委員

ほかにいかがでしょうか。

(なしの声)

◎伊藤委員

なければ、議案第2号についてお諮りします。

議案第2号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎伊藤委員

御異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

永瀬委員を入室させてください。

暫時休憩します。

(永瀬委員着席)

◎伊藤委員

再開します。

議案第2号は、原案のとおり可決しましたことを御報告します。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思っております。教育総務課からお願いします。

教育総務課長。

◎戸塚教育総務課長

教育総務課から、令和2年第5回野田市議会定例会について御報告いたします。お手元の資料で、教育長の報告事項1ページからでございます。

令和2年第5回野田市議会定例会は、令和2年7月13日から8月3日までの会期で開催されました。市政一般報告につきましては、教育委員会関係及び関連する事項を抜粋しております。一般質問につきましては、7月21日から22日及び27日の3日間で12名の議員から質問があり、そのうち、教育委員会関連では5名の議員から質問がありましたので、その答弁について概要を配付させていただいております。

教育委員会関係の議案等といたしましては、報告第1号 令和元年度野田市一般会計継続費繰越計算書、報告第3号 令和元年度野田市一般会計繰越明許費繰越計算書、議案第6号 令和2年度野田市一般会計補正予算(第4号)が提出され、議案第6号の令和2年度野田市一般会計補正予算(第4号)につきましては、可決されておりますことを御報告申し上げます。

以上でございます。

◎伊藤委員

次に、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎下川学校教育課長

新型コロナウイルス感染症の対応について御報告いたします。

例年より短い夏休みも終わり、8月24日から学校を再開し、翌25日からは給食も提供され、児童生徒は通常日課を送っています。8月24日の登校状況を御説明しますと、小学校では、在籍児童7,599名に対し、2.2%に当たる166名が欠席しました。また、中学校では、在籍生徒4,049名に対し、4.0%に当たる163名が欠席しました。要対協関係の児童生徒の確認については、9月3日までに全員の確認ができております。

教育委員会では、8月中旬に「新型コロナウイルス感染症対策 通常登校開始に伴うガイドライン(第2版)」を作成し、これを基に感染症対策を講じた上で、学校生活を安全に送っているところです。給食については、配膳時の感染リスク等を考慮し、和え物等を控えたメニューで提供してきましたが、9月1日から通常メニューとなり、感染症対策を

講じた上で、配膳、お代わり、後片付けを行っております。

清掃については、換気やマスクの着用等を確認した上で、教師指導の下、通常の清掃活動を行っております。保護者からの問合せが懸念されたトイレ清掃も各校のガイドラインに沿った取組により、安全に実施できています。8月下旬から9月中旬の残暑の時期に、保護者や地域の方から市教委に、「登下校中に児童生徒がマスクを着用していないが、指導してほしい」という要望がありました。本市では、ガイドラインを作成し、各校で対応していただく中で、熱中症対策として、ソーシャルディスタンスが確保できる場合は、マスクを外して登下校できるよう指導していることを伝え、御理解いただきました。このほか、各校では、日傘や冷感タオル等の使用も柔軟に対応いただいております。

野田市では、8月以降、児童生徒及び職員に陽性者は出ておりません。学校では、朝の検温と健康観察、3密の回避を徹底し、通常の学校生活を取り戻すよう取り組んでおります。保護者にも引き続き、お子様の健康管理と風邪の症状等が出た場合の早めの医療機関への受診を依頼し、学校から陽性者を出さないよう取り組んでまいります。

このような中、9月18日、金曜日、柏市にある流通経済柏高等学校で陽性者が出て、5校時で休校となりました。この高校に在籍する生徒は、家族が在籍する小学校に情報提供を行い、速やかに市教委に連絡が入りました。このほか、市内の児童生徒の家族関係で情報が入った高校は、埼玉県立春日部東高等学校、千葉県立柏中央高等学校でした。この場合も保護者からの速やかな情報提供により、保護者が児童生徒を休ませる等の対応を適切にとっていただいております。

私立幼稚園6園との連携では、園児や職員に陽性者が出た場合には、学校教育課が窓口となり、市独自のPCR検査の実施や施設内の消毒作業で野田市として支援することを既に私立幼稚園協会長の加藤様にお伝えしたところですが、8月に作成したガイドライン（第2版）を佐藤教育長が持参し、幼稚園の新型コロナウイルス感染症対策について意見が交わされ、各園の感染防止に役立てていただくよう依頼してまいりました。

最後になりますが、いまだに新型コロナウイルス感染の終息が見えない状況ですが、家庭と協力し、学校での新型コロナウイルス感染防止に全力を尽くすよう、学校を指導してまいります。今後、文部科学省や県が発出するマニュアルやガイドラインを参考に、安全な教育活動が展開できるよう取り組んでまいります。

以上です。

◎伊藤委員

新型コロナウイルスに関しまして、永瀬委員から何かお話はありますか。

◎永瀬委員

今年は、新型コロナウイルスという未知のウイルスが全世界に及び大変なことになっているんですが、今年の初めにコロナウイルスが出たということが報告されてから9か月たって、どういったウイルスなのかということがだんだん分かっている状況かと思えます。どの地域でも、学校としての対策は、各先生方が非常に気を使ってやられていると思います。実際ウイルスというものは目に見えないものなので、例えば手洗い、うがい、マスク、換気がどのくらい効果が出ているのかということが、数字としては表れてこない部分も多く、半信半疑的な部分でやっているということだと思えます。医療者側から見ると、いわゆる夏風邪というのは、ほとんどがウイルス感染によるもので、コロナとは違いますが、代表的なものでは、手足口病とかヘルパンギーナとか咽頭結膜熱など代表的な夏風邪が、臨床の現場だと一つの医療機関に100人以上が来るという状況で、高熱も出ますし、ご飯も食べられないという方が多く見られるんですが、今年は本当にほぼゼロなん

です。千葉県、全国の統計を見てもほとんどゼロなので、学校でやられている換気とかマスク、手洗い、うがいというものが、相当効果があるんだと、医療者側からもびっくりするくらい効果が表れているので、コロナといってもウイルスの仲間なので、このような対策をやっていれば、冬のいつも流行するインフルエンザの対策にもかなり有効になってくるんじゃないかと、私自身は感じています。ただし、コロナが出て初めての冬を迎えることなので、どのように流れていくかは分かりませんが、今のところの様子を見ていると、風邪のウイルス全般の対策は相当できていると感じているので、こういう対策で効果が相当出ているということを各先生に伝えてもらって、今後も気を緩めず続けていただきたいと思います。

今後、何か変化がありましたら報告させていただきます。

◎伊藤委員

永瀬委員、ありがとうございました。

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

◎山田指導課長

指導課よりGIGA（ギガ）スクール構想の進捗状況について御報告申し上げます。

GIGAスクール構想に係る国の補助分の全児童生徒の3分の2に当たる7,895台のパソコン端末購入のため入札を終え、本市におけるGIGAスクール構想への環境整備が進んでおります。まず、1人1台のパソコン端末ですが、本市では活用場面を想定した上で、クラウド上でデータ管理ができるなど、クラウドを活用し様々な作業をすることで、端末自体の作業性の良さ、また、優れたセキュリティ面が特徴である「Chromebook（クロームブック）」を導入いたします。今回、各学校の児童生徒数の3分の2に当たる端末を導入しますが、これと同時に、全児童生徒に対して個々のアカウントを与えますので、誰がどの端末でも毎回同じように自分の物として活用することができます。導入時期につきましては、12月より随時導入し、2月には全小中学校への導入が完了します。

次に、この端末を活用するためのネットワーク工事も既に始まっており、こちらも2月には全小中学校で完了し、同時に多くの端末を使用する環境が整うこととなります。2月中には3分の2の端末を活用した学習が開始されるわけですが、一番の課題は、実際に学習指導に当たる教職員だと考えています。一つは技能面です。授業の中で子供たちに使用させるためには教職員の技能が求められます。そこで、本市のICTプロジェクト「NICT（ニクティ）」では、まず、今ある2in1タブレットパソコンを使い、ICT機器の活用事例集の作成を始めました。特にベテラン層の教職員にも手軽に活用できる事例をたくさん集め、市としてアイデアを共有することを目的としています。

また、全教職員に対して、リモート授業、リモート朝の会、リモート帰りの会など、リモートでの指導を今年度中に1回は実施してみようという呼びかけも同時に行っております。コロナだけではなく、有事の際には端末を貸し出し、リモートでの学習に対応できるようになることが目的です。

課題の二つ目は、教職員の意識改革です。新しい学力観の一つでもある「何ができるか、何を知っているかではなく、できることや知っていることをどう活用するか」が、子供たちの興味を広め、学びを深めるということ、そして、そのための有効なツールとしてパソコン端末があるという意識を共有すること、同時に個別最適化された学習にはパソコン端末が必須だという意識を共有することが必要であり、この新しい考え方の学習が、数か月後から現実には始まるという覚悟を共有することだと捉えています。これらの課題は、一人

一人の教職員に浸透させなくては意味がないことから、今回添えました資料を基に、一校一校訪問し、私自身が全教職員へ説明しているところです。

今後、GIGAスクール構想に係るこれらの環境整備と同時に、市費単独となる残り3分の1のパソコン端末の来年度の導入、国の補助プログラムのウェブカメラ、Wi-Fi（ワイファイ）ルーターの購入、また、野田のICTプロジェクト「NICT」の一層の推進をまいります。

指導課からは、以上でございます。

◎伊藤委員

ありがとうございました。

GIGAスクール構想について、私から一言申し上げます。昨日も佐藤教育長と電話で話しまして、コンピューターやネットワーク環境の構築を専門とする若い先生が野田キャンパスにおりまして、この会議の後お話を伺うんですが、そういう形で野田市の小中学校31校のネットワーク化でのトラブル、その他技術的な対応を、その若い先生にお願いをしようと考えております。また、これから子供たちに1人1台パソコンが与えられるわけですが、その活用方法については、例えば今、関宿中の梅校長先生と連絡を取っているんですが、オーストラリアとは時差が1時間程度しかないので、オーストラリアの小中学校とつながって英語の勉強、その他の教育活動のつながりを、今は梅先生とのやり取りですが、市全体でネットワークをうまく使って、これからのグローバルな社会にどうつなげていくかと。また、ネットワークのトラブルというのは、我々素人ではどうしようもありませんので、専門の若い先生から技術的な助言、サポートが受けられるよう進めております。その若い先生は、これまでもパートナーシップ協定に基づき出前授業にも参加している先生ですので、そういう方を巻き込んで、サポートしてもらおうよう私の方からもお願いしているところです。

ほかに報告事項はありましたらお願いします。

ないようですので、ただいまの報告事項につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

コロナの関係ですが、児童さんでコロナにかかってしまった方と、教員さんでかかった方がいらしたと思いますが、そういった方々に対して、誹謗中傷といったいじめというか差別というか、そういったことはなかったでしょうか。

◎伊藤委員

学校教育課長。

◎下川学校教育課長

七光台小については、児童が自宅で待機中に学校で人権教育、いじめに関していけないということを、各学年の発達段階に応じて道徳の授業で行いました。また、教職員についても全校体制でということで、日頃からいじめとかそういったものにつながる言動についてチェックをして、その都度指導するようにしていると七光台小の校長から聞いております。

また、清水台小の教員ですが、8月の下旬から出勤しておりまして、私も学校に行って元気な様子を確認しております。ほかの先生から以前と変わらないということも確認しております。職員のクラスについては、保護者宛ての文書を出しまして、御迷惑をおかけしましたという形での報告がなされたと聞いております。以上です。

◎伊藤委員

飯田委員よろしいでしょうか。

◎飯田委員

ということは、児童さんに関しては明るく元気に、教員さんについては今までどおりということですのでよろしいですね。引き続きよろしくお願いいたします。

◎伊藤委員

ほかに御質問はありませんか。

ないようですので、以上で教育長の報告事項を終了します。

本日の議題は、全て終了しました。

以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員